活動者会議日程

8月24日（金）

開始：夜7時30分より

場所：清瀬アミュー7階大ホール

けんせつ 清瀬久留米

発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
TEL 042-473-8751
FAX 042-473-8753
URL http://www.tokyodoken.info/
発行者　鈴木勝雄
編集者　角　毅征

なくせ原発17万人の声

7・16 さようなら原発10万人集会
空前の大集会
代々木公園

空前の大集会でした。主催者発表17万人が参加。労働組合（原発推進大企業労組を除く）、市民団体、個人が「原発なくせ」の一点に結集しました。

原宿、明治神宮前、代々木公園の各駅からは12時半の開始時間を過ぎても、代々木公園の会場まで途切れること無く人の波が押し寄せていました。

上空には何台もの取材のヘリが飛んでおり、メディアも見過ごすことのできない、大運動となっていることを物語っていました。

支部から参加した45人はメイン会場に入ることが出来ず、けやき通りの歩道橋下の日陰に陣取りました。

公園周辺に配備された何台ものスピーカーによって、参加者へメイン会場のステージの様子を伝えていました。

ステージは全部で4つあり、ライブやトークなどで、反原発の思いを切実な声として訴えていました。

それにしても暑かった。暑さと人の波に負けそうになった。

文字通り大集会となったため、デモ出発まで時間がかかり、体力的にも辛いものがありました。

しかし、いざデモが始まると、近年にはない、驚くほど大きなシュプレヒコールに力をもらい、元気いっぱいデモ行進へと出発しました。

東京土建の参加者には、若い人の姿は少数でしたが、全体を見ると、若い人、子連れの参加者がとても目立ちました。『原発なくせ』の声は世代を越えた、大勢の国民の声です。更なる大きな運動の波を作るため大同団結して声を出し続けていきましょう。

松竹分会　阿部　史夫

これからの日本に明るさが
きよせ怒りのつどいを開催

きよせ怒りのつどいが7月8日、清瀬商工会館で開かれ79名が参加しました。つどいは主催者を代表して石垣雅之実行委員長（清瀬久留米支部委員長）が挨拶し、後藤道夫先生（都留文科大学教授）が「日本の新しい福祉国家の展望」と題して講演しました。

後藤先生は福祉国家とは、①産業別労働運動と国家による労働市場への介入⇨良質な雇用の実現、②国と自治体による社会保障・教育保障を通じて、すべての人々の最低生活保障に責任を持つ国家、と話されました。

会場から支部書記長の北島晃さんが、アスベスト訴訟への支援を訴えました。その後、5団体から怒りの訴えがありました。

参加した組合員の息子さんは「どうすればよいのか見当がつかなかったが、これからの日本に明るさが見えてきました。大変よいつどいでした」と感想を述べていました。

元塩分会　島田　久雄

清瀬久留米支部教宣部主催

イベント告知 スナップ写真コンクール

今秋、清瀬久留米支部教宣部の主催で、スナップ写真コンクールを開催致します。

ジャンルは問いません

風景・家族・ペットそして組合活動など、日常のあらゆるスナップ写真をご応募ください。写真展を、秋頃 開催します。

募集期間：9月末事務所必着に変更

※写真の現物、データは問いません
お一人様5枚程度の応募とします
詳細はチラシの配布にて
是非応募してください

建設国保を守る

7・4 予算要求集会 デモ 全建総連

都庁に集合し、所管部署と都議会に陳情を行いました。

朝の9時過ぎ、都庁舎前の地下広場に集合。節電のためか薄暗く、何となく臭い。

およそ一〇〇〇人位の仲間が、東京全域から集まっていたように感じる程でした。

9時45分から班（各班15―20名）に別れて、それぞれの陳情先へ。私も飛び入りで財務局へ行きました。

都庁34階にある会議室。対応は、予算課主査の東山（とうやま）氏と藤木氏。

知事宛の、建設国保への助成を今まで通りお願いしたい旨の要望書を渡し、組合員が今どんな状態であるかを訴えました。約30分の会見で、対応に出られた東山氏は、組合員の実情を知りたい風でありました。

午後は日比谷公園に移動。全国大会へ。

清瀬東久留米支部は、他の多摩支部同様、野音の外で待機。中の様子は、時折聞こえる声と拍手で想像するのみ。中を覗きにいくと、政党来賓の挨拶中でした。今回の集会は健康保険が主テーマだが、関心はやはり消費税と原発でした。至る所で不安を語る声。消費税増税反対のヤジもとび、議長が制止する一幕もありました。

デモでは、鍛冶屋橋公園まで行進しました。会場の野外音楽堂では、まだ、来賓の挨拶が続いている様子の中、デモ出発地点に集合。あとは、隊列を組んで、シュプレヒコールをしながらデモ行進を行いました。北浅分会　佐久間　博

その後のスイカ割りでも子ども達がそれぞれの個性を発揮し、活躍してくれました。

皆で美味しいカレーを食べて、ビニールトンボを飛ばして。夏休みの思い出できたかな!?

子育て実行委員
元塩分会　杉村　真理

学んでたたかおう！

7・18清瀬久留米支部税金学習会

清瀬久留米支部会館にて、7月18日（水）「社会保障と税の一体改革で仕事・くらしはどうなるの」と題した学習会を開催しました。

税金対策部と社会保障対策部及び分会役員計21名が参加しました。

本部より井澤税対専従常任中執を講師に迎え、政府が推し進めている「社会保障と税の一体改革」について、組合の仲間のくらしに与える害悪について学びました。

「日本政府は消費税を増税しなければ、財政破たんすると言いながら、1、000兆円以上の純資産を保有する大金持ちの国だ」と政府が盛んに宣伝する財政破たん説がウソであると紹介。「増税しても計算通りに税収は増えない」「消費税増税で喜ぶのは1％程度の富裕層だけ」と増税が国民のくらしを破壊すると断じました。

また、建設産業への影響も大きく、消費税増税が職人の「一人親方化」を加速させ、不安定就労者の増加にも拍車をかけると指摘しました。「大企業・大資産家優遇の税制を改め、支払う能力に応じた税制の実現こそ必要」と締めくくりました。

社会保障と税の一体改革関連法案は参議院で審議中です。何としてでも廃案にすべく、今後の運動を強めてゆくことを確認し合った学習会でした。

書記局　本島　厚司

芋ほり体験 子育て交流会

清瀬の小寺農園にて7月29日（日）にジャガイモ掘りを行いました。

子ども8名を含む30名の参加がありました。熱中症が心配される程の晴天で土が乾いていたせいか素手でも簡単に掘ることができ、土の感触を楽しみました。

本部シニア友の会10周年

本部役員を含めて、支部役員会から7名で参加しました。暑い日の日中に行われた為、全体で306名と少々淋しい参加者数でしたが、全支部からの参加で初めての周年行事を楽しみました。実行委員長も特別参加した、前進座の情勢を交えた寸劇が非常に盛り上がり、美味しい紅白まんじゅうも振る舞われました。

支部からたくさんの仲間と参加できて良かったと、役員一同の感想でした。来年の支部10周年へ向けて、秋の会員拡大を『楽しく、団結』してがんばります。

国民平和大行進

清瀬

平和宣言都市として

会では渋谷清瀬市長が、平和宣言都市の市長として、平和行進開催と参加への感謝の挨拶をし、市庁舎出口まで一緒に行進しました。元気いっぱいのシュプレヒコールとともに東久留米市へと引き継ぎました。全体で100人、土建からは19人の参加でした。

東久留米

7月22日（日）に、東久留米平和行進が行われました。各団体、個人80名（土建22名）が参加し、会場となった「ほんちょう第二広場」があふれかえるほどでした。

米軍基地やオスプレイ、原発問題などの報告と、原水爆禁止世界大会参加者から決意表明が行われました。

気温も低く、行進にはうってつけの天気の中、参加者の元気な声が30分の行進中絶えることはありませんでした。

清水

スープの味

私には三人の子がいます。

長女は自宅から築地まで通勤しています。

次女は、街区は違うがすぐ近くに（200m位）に住んでいます。

初孫も小学6年生になりました。

長男は隣の棟に住んでおり、まさに目の前である。

3人の子と次女、長男の娘、5人共同じ幼稚園の先輩と現役ですから、長い繋がりとなっています。

長女から4歳の孫まで、最善の家族とは思わない反面、嫌われ一族でもないらしい。

幸福とはなにか、きわめて平凡な暮らし、空気みたいだがそれが何より大事なのです。

高齢化、健康不安、孤独化の今こそ、スープの冷めない程の所にいてもらいたい。

滝山分会　寺園　静雄